

「日向かぼちゃカップ」開催に伴うお願い

熱気球大会関係者 各位

株式会社 九電ハイテック 宮崎支社 送電グループ

大会が実施される飛行エリア付近（人吉～えびの～都城）を通過している送電線は、50万ボルト～6万6千ボルトと電圧の非常に高い送電線です。

送電線のほとんどが九州南部を主な供給エリアとしており、中には事故時の影響が九州全域に及ぶ、送電線も含まれています。

送電線へ接近及び接触し事故が発生しますと、人身事故だけでなく社会的に多大な影響がありますので、下記の事項について注意して下さい。

記

- 1 原則、送電線付近での離陸及び着陸をしないでください。
- 2 飛行前に、万一に備え送電線のない着陸場所を数箇所設定してください。
- 3 飛行前に、関係者全員でミーティングを行いフライト計画の共有をしてください。
- 4 送電線と送電線に挟まれたエリアからの離陸及び着陸はしないでください。
- 5 風の影響等でやむを得ず、着陸地点が変更となり送電線付近へ着陸する場合
 - 原則、送電線より風下側へ着陸してください。
 - 送電線より風上へ着陸する場合は水平200m以上離れた場所へ着陸してください。
- 6 送電線上空を通過する場合は、送電線から100m以上離隔を確保してください。
- 7 送電線より風上に着陸した場合は、再離陸しないでください。
- 8 万一、送電線に熱気球が掛かった又は接触した場合は、速やかに当社と救急へ連絡し、到着までその場から絶対に動かないでください。
- 9 送電線は、電気事故が発生しますと瞬時に停止しますが、1分以内に自動的に再送電する仕組みとなっておりますので、電線に掛かった状態の熱気球には触らないようにしてください

以上

(連絡先) 株式会社九電ハイテック 宮崎支社 送電グループ

0985-26-9053

熱気球大会における送電線、配電線への接近禁止 と接触事故発生時の感電防止について

1 送電線、配電線（以下「電力線」といいます）への接近禁止

飛行範囲内には、50万ボルトから6万ボルトの電力線が通過しており、接触する事はもちろん、**接近しただけで（送電線は11m以内）感電する恐れ**があり、重大事故につながりますので、接近することがないようにお願いします。

なお、**熱気球立ち上げ時にも**接触した事例がありますので、電力線から十分な距離を確保して作業をお願いします。

■接触事故による影響

ご存知のとおり、現代社会における電気は必要不可欠なものであり、送電線、変電所、配電線等への接触事故による影響は相当な広範囲に及び、多くの方に多大な迷惑をかけることとなります。

- ① 接触事故による停電は接触時だけでなく、接触した機体の撤去時やパイロットの救出時にも停電が必要になる場合があります。
- ② 接触事故による停電については、損害賠償等の問題が発生します。
- ③ 接触事故による送電線、変電所、配電線等の点検、修理に要した費用について、ご請求申し上げます。

2 接触事故時の人命救助における搭乗者及び関係者の感電防止

①電力線に接触している物には絶対に触れないでください。

電力線は事故で一旦停電した後、自動的に電気を送るシステムとなっており、停電しているとは限りません。

電力線はもちろん、垂れ下がった状態の搭乗者や機材へ地上から接近、接触する行為も感電の危険があります。

②救助活動にあたっては当社社員の立ち会いのもとで実施してください。

（電力線に触れている機材の回収作業も同様です。）

当社社員が現地において電力線が確実に停電していることを確認する必要がありますので、まず大会本部へ連絡をお願いします。

3 事故発生時の迅速、確実な連絡

接触事故等発生時には、九電ハイテック宮崎支社送電グループへ連絡をお願いします。

また、接触して離れた場合も設備損傷の恐れがあるため、連絡をお願いします。

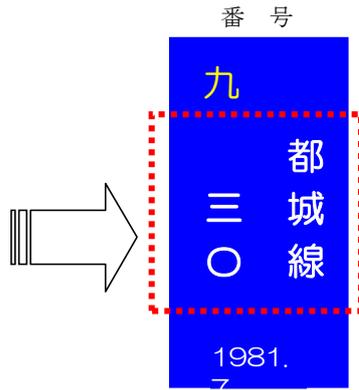
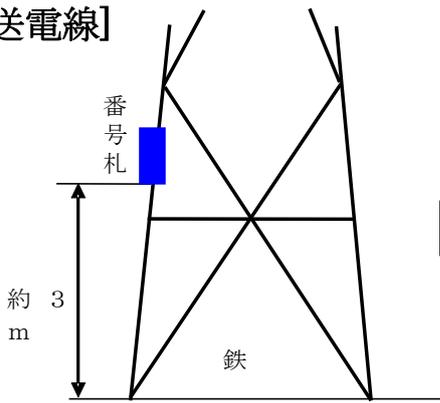
（連絡先）0985-26-9053

（連絡内容）

- ・ 場所（接触場所の座標やGPS情報による位置図など）
- ・ 事故の起きた時刻
- ・ パイロット、クルー、第3者のケガ人の有無
- ・ 接触箇所付近の鉄塔または電柱に掲示している番号
（送電線、配電線番号の見方参照）
- ・ 熱気球、電力線の損傷具合（近づかずに確認できる範囲で）

送電線、配電線番号の見方

[送電線]

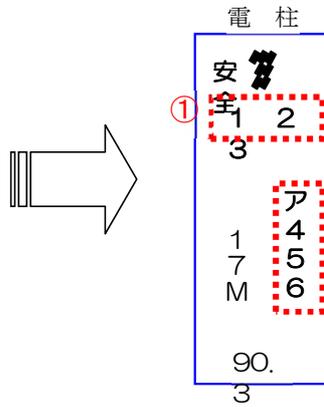
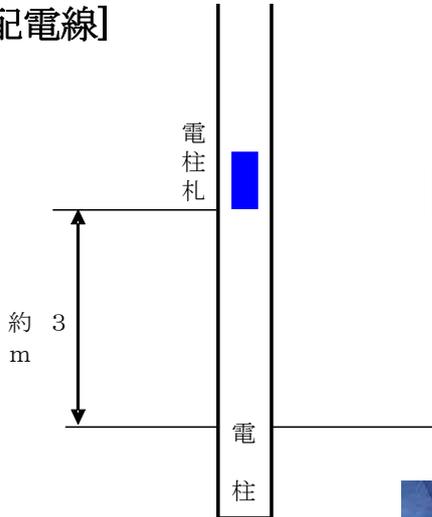


(九電は黄文字)
(番号の読み方)
都城線 30号

4脚のうち1脚のみに取付け



[配電線]



(番号の読み方)

1 2 3 ア 4
① ②



送電線近辺での熱気球安全飛行について

2025年 11月 20日
QHT宮崎支社送電グループ



0

送電線への理解について

1

1 送電線の種類

送電線の種類には「架空電線路」と「地中電線路」の2種類あります

みなさんがよく目にするのは「架空電線路」＝「送電線」です

「送電線」は6千ボルト～50万ボルトの高い電圧で九州各地のお客さまへ電気をお届けしています



【電圧階級】

- 6,600V
- 22,000V
- 66,000V
- 110,000V
- 220,000V
- 500,000V

6万6千ボルトの送電線



1

送電線への理解について 2

2 送電線の構成

送電線は3本で1組（3相）で構成され、電線は「裸線」で電線同士の
間隔を保ち、空気絶縁しています

②がいし
④鉄塔
③架空地線
①電線

6万6千ボルトの送電線

九電グループ
ずっと先まで、明るくしたい。

2

送電線への理解について 3

3 送電線の事故

送電線の事故には、「地絡事故」と「短絡事故」2種類あります

「地絡事故」
電線と大地が熱気球を通じて繋が
り送電線から大地へ電気が流れる

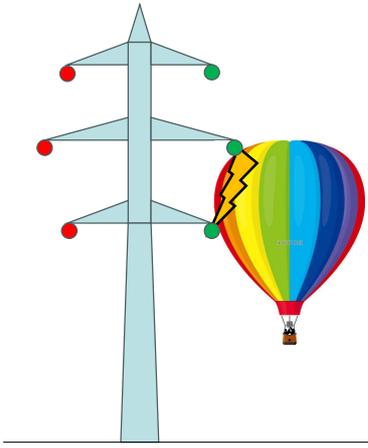
九電グループ
ずっと先まで、明るくしたい。

3

送電線への理解について 4

3 送電線の事故

送電線の事故には、「地絡事故」と「短絡事故」2種類あります



「短絡事故」
電線と電線が熱気球を通じて繋がり
電線同士へ電気が流れる

九電グループ
ずっと先まで、明るくしたい。

4

送電線事故発生時の影響について 5

送電線の事故発生した時には、「電流」「光」「熱(アーク)」が発生します

1 人的影響

- 「電流」により、**搭乗者が感電(死傷の可能性)**する
- 「熱(アーク)」により、**搭乗者が火傷**する

2 物的影響

- 「電流」や「熱(アーク)」により、**熱気球本体が延焼**する
- 「電流」が流れることで、**送電線が損傷(最悪の場合断線)**する

3 社会的影響

- 熱気球を送電線へ接触させたことで、**広範囲の停電が発生しその内容が報道**される

4 賠償責任

- 送電線が停電することで影響のあった**お客さま(一般家庭、工場)からの高額な賠償請求**への対応
- 送電線が損傷した場合の**電線の修繕費用や熱気球の除去費用の支払い**

九電グループ
ずっと先まで、明るくしたい。

5

飛行についてのお願い

6

- 1 原則、送電線付近での離陸及び着陸をしないでください
- 2 飛行前に、万一に備え送電線のない着陸場所を数箇所設定してください
- 3 飛行前に、関係者全員でミーティングを行いフライト計画の共有をしてください
- 4 送電線と送電線に挟まれたエリアからの離陸及び着陸はしないでください
- 5 風の影響等でやむを得ず、着陸地点が変更となり送電線付近へ着陸する場合
o 原則、送電線より風下側へ着陸してください
o 送電線より風上へ着陸する場合は水平200m以上離れた場所へ着陸してください
- 6 送電線上空を通過する場合は、送電線から100m以上離隔を確保してください
- 7 送電線より風上に着陸した場合は、再離陸しないでください
- 8 万一、送電線に熱気球が掛かった又は接触した場合は、速やかに当社と救急へ連絡し、到着までその場から絶対に動かないでください
- 9 送電線は、電気事故が発生しますと瞬時に停止しますが、1分以内に自動的に再送電する仕組みとなっておりますので、電線に掛かった状態の熱気球には触らないようにしてください

